



西小だより

山形市立西小学校
令和7年1月31日
校長 小林 聡

【学校教育目標】未来への夢をもって、豊かに学び、しなやかでたくましい子どもの育成

脱皮して「新しい自分」になる



新年を迎えて早くも一カ月。安心して元気に過ごせる日常が有難いです。

今年は巳年。蛇は、脱皮を繰り返し大きく逞しく美しく成長する生き物ですから、それに倣って私たちも「新しい自分」になりたいものだと思います。脱皮とは、古い皮を脱ぐことですが、私たち人間にとって古い皮とは何でしょうか。これまでの自分の中でどうしても克服できない弱さだったり、至らなさだったり……。もしかしたら、自分が脱ぎたい「古い皮」とは「面倒くさい、恥ずかしい、人任せにしてしまう、人が見ていないところでごまかしたくなってしまふ…」そんな目には見えない心の中にあるのかもしれない。それらの「古い皮」を脱ぐには、「毎日、コツコツ、昨日の自分にまけないように……」と、とても地道な作業ですが、だからこそ少しずつ脱いできた古い皮から脱皮した時、うれしさがこみ上げてくるものだと思います。本物の蛇の脱皮した直後の美しさと言ったらありません。さらに、蛇はこの脱皮をくり返します。

いつも高みを目指して、「うまくなりたい、できるようになりたい、もっとこうになりたい……」変わる喜びを味わい、変わることを楽しみながら「新しい自分」になる！そんな一年に。

3学期の「新しい自分」を堂々と発表しました

わたしが3学期がんばりたいことは4つあります。1つ目は、3年生の3学期は4年生の0学期というので、4年生に上がるために2学期よりも4年生らしい態度をとりたいです。例えば、ろうかで先生と会ったらえしゃくをする、そうじの時間にむだ話をしないようにするなどです。2つ目は、スキーをがんばりたいです。今までスキーをやったことがなく、今年は初めてなので、上手にできるようにがんばりたいです。3つ目は自主勉をがんばりたいです。2学期までは漢字ドリルと計算ドリルを中心にがんばってきたけど、3学期では国語や算数の教科書を使った自主勉もがんばりたいです。4つ目は、テストで100点をとれるようにがんばりたいです。そのためには、授業に集中し、自主勉でしっかりと復習をしていきたいです。

3学期はこの4つの目標を達成できるようにがんばりたいです。 3年 A. Y

わたしが3学期に頑張りたいことの1つ目は、「優しい心の持ち主になること」です。4月からは6年生として、学校のリーダーとして西小を引っ張っていくために、優しい心を大切にしたいと考えています。それは、低学年の頃、けやきっ子班の活動で何も分からず不安になった時、6年生が「大丈夫だよ」と優しく声をかけ、優しくリードしてもらったことがあったからです。とてもうれしかったし、安心して活動することができました。いつも笑顔で優しくリードしてくれる6年生を見て、私もそんな6年生になりたいと強く思うようになりました。友達にはもちろん、誰かが困っていたら率先して優しく声をかけることができる、そして誰からも気軽に声をかけてもらえる優しい6年生になりたいです。

2つ目は「あいさつ」です。あいさつは自分の気持ちを伝えることができる方法の一つ。顔を見て声を出すことで、より相手に気持ちを伝えることができます。プロジェクト委員会であいさつ運動をしていますが、もう少し頑張れそうだな、もっと西小にあいさつを響かせたいなと思っています。活動する側が本気で活動することは、信頼されるためにも大切だと考えます。もっと本気で、本気が伝わるように毎日のあいさつをしていきたいです。

3つ目は「自分で考えて行動すること」です。算数の学習の中で、分からないところを先生に聞いたりテスト直しをしたりして、自分で行動して解決した時にはすっきりしてうれしくなります。どんな問題にも挑戦しようという意欲にもつながりました。自分で考えて行動することは、学習だけでなく、いろいろな活動の中でも大切にしていきたいです。

3学期はこの3つを意識して、6年生になるための準備をしっかり進めていきたいです。

5年 S. A

5年生「お米感謝の会」を開きました

5月の田植えから9月の稲刈りまでお世話になったお米の先生方、大山敏弘さん、鈴木政美さん、渡辺剛さんをお招きして1月24日（金）感謝の会を開きました。

代表の庄司一歌さんは、「田植え、収穫全てが初めてだった私たちにやさしくていねいに教えてくださって本当にありがとうございました。田植えは楽しかったけれど腰が痛くなり、収穫までは成長が気になって仕方がなく遠くから田んぼを見てみたり、収穫ではあんなに小さかった苗が大きく立派になっていることに驚きました。当たり前で食べているお米が、苗を育てるところから始まり、田植え、稲穂になるまでのお世話、そして収穫と、作る方々の大変な労力と愛情がこもっていることを初めて知りました。自分たちが作ったお米を食べた時、ふだん食べているお米よりも甘く、特別においしく感じました。一から作っていくという大変さや感動をもっとたくさんの人に伝えていきたいと思いました。そのために、私たちができることは何かをこれから考えて行動できたらと思います。お米を食べる時、成長していく稲穂を見る時、先生方を思い出して感謝の気持ちを忘れずにいきたいです。」と話しました。

子どもたちにとって、日常の暮らしを見つめる大きなきっかけとなる貴重な体験になりました。大変ありがとうございました。



令和7年度 教育計画より

来年度の教育計画の中から、現時点でお伝え出来ることをお知らせいたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 クラス替えについて

本校では各学年のクラス替えについて、令和5年度から「新2～5年生は毎年クラス替えを行う」「新6年生は前年度の3学期に判断する」という考えで進めてきました。検討を重ね、総合的に判断した結果、来年度から「新2～6年生の全学年でクラス替えを行う」とことといたします。

より多くの友達や先生方と関わり合うことが、新6年生を含め、子どもたちにとって、得意なことや興味のあることの幅を広げたり、自分や友達のよさにたくさん気付いたりすることにつながり、子どもの成長がより期待できると考えます。また、多くの人と交流し、様々な見方や考え方にふれることによって、お互いの違いを理解し、協働的に学ぶ力がいっそう育っていくと考えています。

2 スキー教室について

スキー教室の実施学年については、1年前の学校だよりでお伝えした通り、今年度を移行年度として令和7年度から「スキー教室は3・4年生で2回ずつ行い、5・6年生は実施しない」とことといたします。現在、3・4年生（猿倉スキー場）、5・6年生（蔵王スキー場）ともに1回実施し、2月に3・4年生の2回目（蔵王スキー上）を実施する予定です。

改めて、変更した理由は以下の通りです。

- 〈理由1〉積雪がない中でスキーの練習ができないことがあり、学習計画に大きな変更が生じて、卒業に向けた活動や児童会引継ぎ等に係る活動を進めることに支障が出るため。
- 〈理由2〉高学年児童の成長は著しく、年1回のスキー教室のためにスキーウェアやスキーセットを毎年買い替えなければならない等、ご家庭の経済的な負担が大きいため。
- 〈理由3〉体の巧みな動きや調整力が発達する中学年の時に、時間をかけてスキーに親しんだり、技術をおぼえたりすることが望ましいと考えるため。

学校の様子についてホームページで
お知らせしています。ご覧ください。

